



価値協創に向けた IR 活動の推進

ー ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて ー

アサヒグループホールディングス株式会社 理事 IR 部門ゼネラルマネジャー 石坂 修

当社は 2018 年度「証券アナリストによる ディスクロージャー優良企業選定」において、食品部門の優良企業に選定されました。受賞は 2 年連続、通算 14 回目となり、企業価値向上に向けて積極的な対話に努めるなど、経営陣をはじめとした IR 全般の姿勢に対して、継続してご評価頂いていることを大変光栄に存じております。

2014 年以降ダブル・コードと呼ばれる行動指針の導入やその改訂に基づいて、企業側の経営スタンスやアナリスト・投資家の皆様の視点は、より持続的な成長や中長期的な企業価値の向上にシフトし、ショートターミズムの是正は着実に進んでいるものと思います。また企業には、外形的な対応だけでなく、建設的な対話で得られた知見や気づきに基づいて、迅速・果断な意思決定につなげていくことが求められています。

当社は 2016 年以降、市場との対話を踏まえて実行した欧州の大型 M&A や事業ポートフォリオの再構築により、事業利益の海外比率は 40% 近くに高まり、グループ社員の半数以上が外国人となるなど、グローバルな成長基盤が飛躍的に拡大しました。グループが新たな成長ステージに立ったことを踏まえ、世界中の社員をはじめとした全てのステークホルダーに対して、より分かりやすく共感できる新グループ理念“**Asahi Group Philosophy**”を制定し、2019 年 1 月より施行しています。“**Asahi Group**

Philosophy”は、グループの使命やありたい姿に加え、受け継がれてきた大切にする価値観、ステークホルダーに対する行動指針・約束で構成されています。今後はグループ経営の最上位理念として、各種のビジョンやポリシーに反映するとともに、国内外の事業会社は、共通の理念に基づいた戦略を策定・実行していくことになります。

経営を取り巻く外部環境は、政治・経済ともに不確実性が増しているものの、消費構造の多価値化やプレミアム化の進展など多様な「リスクと機会」が拡大しています。また、価値創造経営における ESG の取り組みに対しても、企業価値とのリンクを深めるとともに、その情報開示もさらに拡充していく必要があると考えています。

今回の受賞を励みとして、経済産業省の「価値協創ガイダンス」でも提言されているように、新グループ理念を起点としたビジネスモデル、戦略、ガバナンス等、価値創造プロセスの統合的開示に努めるとともに、そうした「共通言語」に基づいて対話を深掘りし、さらなる価値協創に向けた IR 活動を推進していきたいと思います。アナリスト・投資家の皆様には、引き続き国内外の幅広い知見に基づいて、以前にも増して中長期的な視点に立ったご指摘やご示唆をいただければ幸いです。今後もしばしばご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。